JavaScript

加算子・減算子



加算子(かさんし/インクリメント)

解説

加算子を使用することで、変数1を自動的に足すことが出来ます。

- 1 前置加算子(ぜんちかさんし) / ++a
 - → 変数の値に 1 を加えたモノを表示。

- 2 後置加算子(こうちかさんし) / a++
 - → 変数の元の値を表示。その後にその元の値に1を加える。

わかりにくいので、実例を見てみましょう。

前置加算子(ぜんちかさんし)

1 ++a・・・変数に 1 を加えたモノ表示

```
script.js(JavaScriptファイル)

var a=10;

document.write(++a);
```



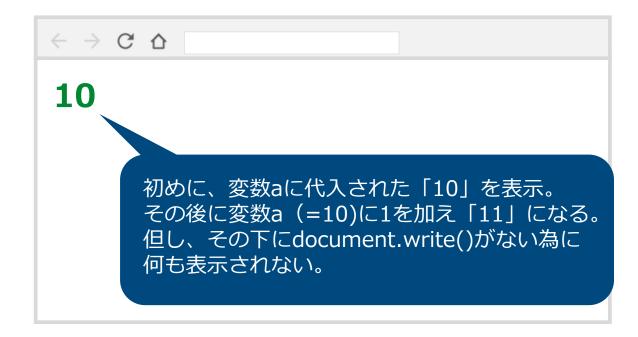
後置加算子(こうちかさんし)

2 a++・・・変数を表示。その後に変数に1 を加える

script.js(JavaScriptファイル)

var a=10;

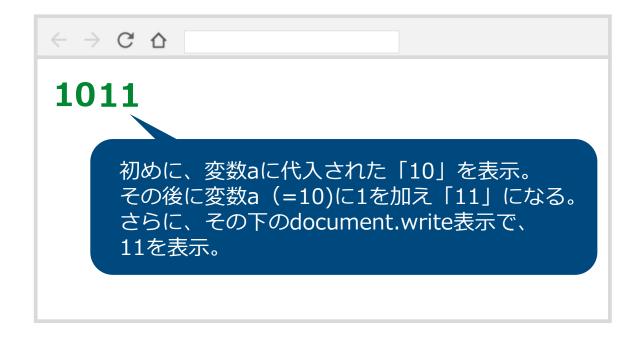
document.write(a++);



後置加算子(こうちかさんし)

2 a++・・・変数を表示。その後に変数に1 を加える

```
var a=10;
document.write(a++);
document.write(a);
```



後置加算子(こうちかさんし)

2 a++・・・変数を表示。その後に変数に1 を加える

```
script.js(JavaScriptファイル)
var a=10;
document.write(a++);
document.write("<br/>');
document.write(a++);
document.write("<br/>');
document.write(a++);
```

```
\leftarrow \rightarrow G \Diamond
10
12
        続けて、a++と記述すると、
        このように1つずつ数が増加させて表示できる
```

減算子(デクリメント)

解説

減算子を使用することで、変数に1を自動的に引くことが出来ます。

- 1 前置減算子(ぜんちげんさんし) / --a
 - → 変数の値から1を引いたモノ表示

- 2 後置減算子(こうちげんさんし) / a--
 - → 変数の元の値を表示。その後にその元の値から1を引く

わかりにくいので、実例を見てみましょう。

前置減算子(ぜんちげんさんし)

1 --a・・・変数から 1 を引いたモノ表示

script.js(JavaScriptファイル)

var a=10;

document.write(---a);



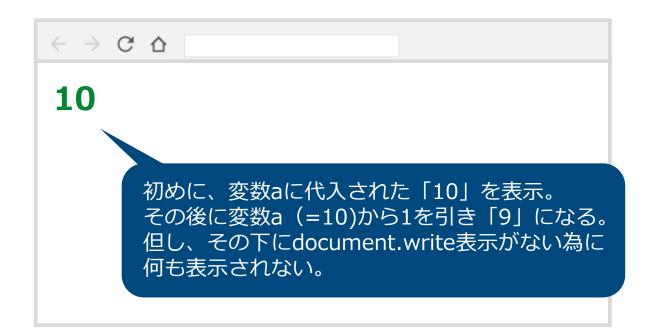
後置減算子(こうちげんさんし)

2 a--・・・変数を表示。その後に変数から1を引く

script.js(JavaScriptファイル)

var a=10;

document.write(a--);

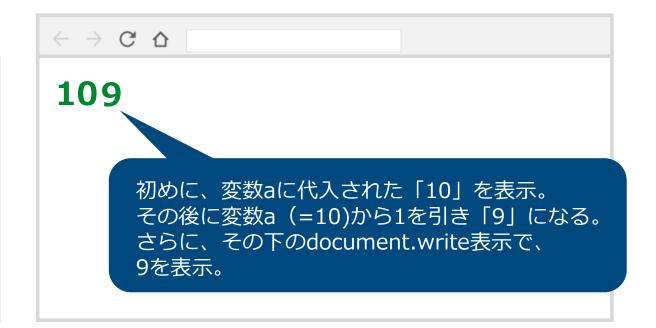


後置減算子(こうちげんさんし)

2 a--・・・変数を表示。その後に変数から1を引く

```
var a=10;

document.write(a--);
document.write(a);
```



後置減算子(こうちげんさんし)

2 a--・・・変数を表示。その後に変数から1を引く

```
script.js(JavaScriptファイル)
var a=10;
document.write( a-- );
document.write("<br/>');
document.write( a-- );
document.write("<br/>');
document.write( a-- );
```

